

# お城に花を咲かせよう会 お便り

発行

No.24号 2026年1月吉日

お城に花を咲かせよう会

会長 吉田 博

新年あけましておめでとうございます。

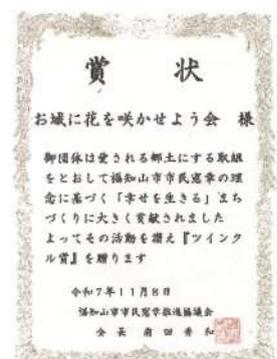
募金活動開始以来9年目を迎えるようとしています。令和7年度募金額88,845円、特に大きな募金活動をしているわけでもないのに、このように大きな善意が続いている事は私達の思いが通じている事と大変嬉しく感謝申し上げます。「お城に花を咲かせよう会」というフレーズが皆様の心に響き続けているのだと思います。多くの皆様が福知山城が綺麗に住くことを願われているのでしょうか。私達もその願いが叶えられるように努めます、令和7年度はツインクル賞も頂きました。今年は福知山城再建40周年を迎えます、「お城に花を咲かせよう会」も大きな未来に向けて一同心を合わせましょう！

## 令和7年度活動報告

- 1月 No.22号 お便り発行
- 3月 文化協会フェスティバル参加 (厚生会館パネル展示案内)
- 5月 総会 : 事業報告 決算報告
- 6月 クビアカツヤカミキリ防除研修会 : 三和町河合小学校
- 7月 No.23号 お便り発行  
例会 : 桜の手入れについて 増茂匠氏と懇談「大地の再生について」  
5日 高刈りの実演  
17日 ワークショップ (市民の桜の土壌改善策)  
24日 市民の桜に柵を設置 (緑化協会様立会い)  
南側の茂りすぎた樹木の伐採を重ねて福知山市に要請しました
- 9月 例会 : ツインクル賞について 他
- 10月 南側樹木伐採 (緑化協会様により)  
31日 第16代佐野藤右衛門様ご逝去につき、弔電送る
- 11月 8日 ツインクル賞受賞 (福知山市市民憲章推進協議会より表彰を受ける)  
例会 : 福知山城再建40周年記念行事について (桜の植樹案検討 他)  
尚 お城の桜は有志によりほぼ毎日見守りされております事をご承知おき下さい。



増茂さん(左)の指導のもと、穴を開ける参加者



入会申し込み随時受付中！

会長・吉田博迄 (携帯 080-3778-4283)

## 第16代 佐野藤右衛門様 造園家 作庭家 桜守

1928年4月1日～2025年10月31日

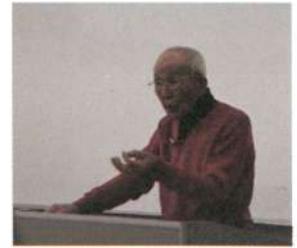
桂離宮、京都迎賓館など数々の名園を作り上げた

桜の調査 研究も重ね全国の名桜を守り継ぐ。

主な受賞歴 パリユネスコ本部よりピカソメダル

黄綬褒章 勲五等双光旭日章

京都府文化賞特別功労賞 他多数



### 追悼特集

わが師 第16代佐野藤右衛門氏をご逝去されました。9年前の公立大の教室での講演会の音声データを残して。福知山城に初めて三代目の「祇園枝垂桜」を植樹した時の講演会です。演題は「自然の都合と人間の都合」でした。福知山をどうすれば良い場所になるか？を語られています。藤右衛門様が我々に残して頂いた貴重なデータです。後々の代に繋ぐ為に私達はそのデータを今文章化しています。

ありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

お城に花を咲かせよう会 代表 吉田博

4年前 御自宅をお伺いした時の感動は今も心に残っています。会員有志でお庭を見学させていただきました。たくさんの桜や木々を大切に育てておられました、又お忙しい中を気さくに説明していただき一緒に写真にも入っていただき本当に嬉しく思いました。ご冥福をお祈り申し上げます。安らかに眠りください。

足立桂子

今となってはどんな言葉も空しくなります。植藤造園様にお邪魔した時、気さくにお話して下さり御一緒に写真を撮らせて頂きました。桜一筋、粋で可愛い魅力的な藤右衛門様でした。出会いに感謝です。桜を見るたび思い出すでしょう。

「桜香を残して星となりたもう」 愚作を一句

衣川洋子

佐野藤右衛門氏の思い出は桜の事だけでなく、全ての事象は自然と繋がって、その調和こそが一番大事なんだと、静かな口調で淡々と語られたのが、今でも心に残っています。正に国連で採択されたSDGsに繋がるものです。ご冥福をお祈りします。

吉見謙治

佐野藤右衛門様との最初の出会いは9年前の講演会にお茶をお出しした時でした。手作りの生姜糖を気に入って頂けたようで、当時の副市長の伊東様とポリポリと食べておられました。京都の御自宅を訪問させて頂いたおりは いつ死んでも良い とマスクを外して写真に入ってくださいました。本当に粋で気さくで可愛い藤右衛門様でした。

ありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

藤田流美子

